

平成29年3月2日(木)

14:00~16:00

参加者: 81名

1、開会あいさつ 庵谷会長

2、基調講演『介護にかかわる施設について ~その違いと役割~』

こうなんクリニック在宅介護支援センター 丸田康代

3、シンポジウム

各施設の役割

あずみ

特別養護老人ホーム 29名 +ショートステイ 10名

小規模多機能ホームは利用者 19名 (通所 12名+泊まり 9名) 職員 9名 利用者対応は興除地区を中心
岡山市内 74か所 南区 18か所

Q 居酒屋と記入されているのは?

夕食をいつもと変えて、対応している。ノンアルコールビールやおでんを提供した。

南岡山ナーシングホーム

入所 140名 (短期 46 長期 94) 通所 84名 リハビリスタッフ 20名が特徴

短期は2カ月以内の自宅復帰が目標。生活リハビリも実施。

児童の慰問など地域交流もある。南区の2か所は在宅強化型 (在宅復帰率50%以上 要介護4以上が35%
等) 本来の老健の役割を行っていくことが目的

県内全域から 新見や真庭からの入所、香川や島根県からの問い合わせもある。

問い合わせから入所まで最短で3日

グループホーム えがおをみせて いつもえがおで

2つの施設 利用者 9名+18名 要支援対応なし

有料老人ホームそんぼの家南岡山

利用者 48名 職員 27名 (看護師日中のみ) 要支援対応あり 対応地域: 全国どこでも

そんぼの家は大福にもう1か所 (GH: 地域密着型)

食事の時間はある程度は決まっているが、本人の状況に応じて対応、夜間もパンを焼くなどしている。介護
士が各痰吸引・経管栄養を実施。他医療対応 (インシュリン・ストマ・HOT・バルンカテーテル留置)

サ高住 らくらく荘

分かりにくいのが現状では? 平成23年より国交省

利用者も29名定員

平均介護度 3.4 平均年齢 80代

高齢者向けマンションと考えてほしい。ケアの専門家を置いてあるということで、日中は一人 9~18時は常駐
サービスって何?: 安否確認と相談支援と食事 住宅型有料老人ホームの扱い

有料老人ホームとは違う:

地域連携室を立ち上げたので、担当の井上さんまでご連絡ください。

【質疑応答】 (司会:西崎先生、庵谷先生)

小規模多機能 《ターゲット》自宅で介護をしたいと思っている利用者

サ高住 《ターゲット》自宅で介護認定ないけど一人暮らしが難しいのでそろそろかなという方。

入院中、まだ自宅へ戻るには難しいという方。

老健 《ターゲット》自宅で介護をするためにリハビリをしたいと思っている方

GH 《ターゲット》当事業所で生活したいと考えている人 でも空きがない・・・とわからないのでご家族と相談していく必要がある。

有料老人ホーム 《ターゲット》軽度の要介護1・2の方で自宅での生活が困難となった方

Q、小規模多機能になるとケアマネジャーが変わると聞いた。 ケアマネが変わると不安になる。施設間の連携はどうなっているのか、

要支援と要介護ではケアマネが違う。小多機になるとケアマネ変わるが連携する必要がある。

Q、老健に 医療機関から自宅への通過施設だったが、今は？

現在も中間施設。 特養と同じような施設と言う感覚だったが、現在はまいにちリハビリをして自宅へ帰るための施設と、特養申し込み中で自宅での生活難しい型の2タイプの入所施設となっている。